

北陸新幹線（敦賀以西）の早期整備を求める要請

平成28年11月11日、国土交通省から与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームに北陸新幹線（敦賀以西）3ルートにかかる調査結果が報告されました。

関西広域連合では、これまでも、北陸新幹線（敦賀以西）の整備について、一日も早くルートを決定し、大阪までの整備を早期に実現するよう提案してきたところです。

しかしながら、今回の費用便益比の算出にあたっては、各ルートにおける着工時期を北海道新幹線整備後の平成43年に設定しており、北陸新幹線（敦賀以西）の整備がリニア中央新幹線（名古屋－大阪間）にも遅れる計画となっています。

北陸新幹線（敦賀以西）の着工時期を他の新幹線の整備後とすることは、これまでに複数の新幹線を同時に整備してきた整備新幹線の経緯に反します。

また、先に整備計画が決定された北陸新幹線（敦賀以西）の整備が、リニア中央新幹線（名古屋－大阪間）に遅れることは、論理的にも成り立ちません。

東海道新幹線の代替補完機能の早期構築や日本海側の国土軸の早期形成、一刻の猶予もならない地方創生の推進を図るためには、一日も早い北陸新幹線（敦賀以西）の大阪までの整備が必要です。

このようなことから、関西広域連合は次の事項について強く要請します。

記

国においては、国土交通省の調査で設定している平成43年の着工時期にとらわれず、早期整備に必要な財源を確実に確保した上で、一日も早い着工並びに大阪までの整備を行うこと。

平成28年12月12日

関西広域連合

連合長 兵庫県知事 井戸 敏三

副連合長 和歌山県知事 仁坂 吉伸